

## 取扱説明書 KW-33 Qi自動検知電動ホルダー キャバシタ付卓上タイプ

取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り付けご使用ください。

## 同梱品一覧

※開封したら、同梱品がすべてそろっていること、本製品に損傷がないことを確認してください。  
万一、不足や不良がある場合は、当社又は、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。



## ご注意

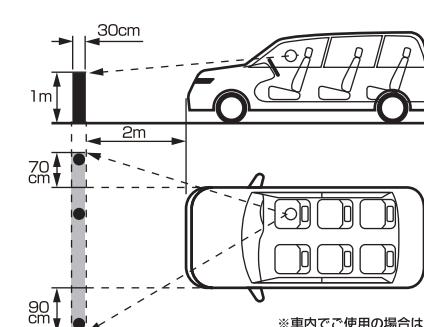
●本製品はフラットな表面のものなど、卓上をお使いください。●本革、合成皮革、布地、ウレタン、曲面、凸凹のある面には取り付けできません。●取り付け箇所やスマートフォンの重量によっては、吸盤が剥がれる場合があります。その際はAT-31交換用グルシート(別売)をご使用いただき固定してください。ご使用前には本製品がしっかりと固定されていることをご確認ください。●車内で使用する際は、AT-85取り付けベース(別売)をご使用いただき、しっかりと固定しているか確認してご使用ください。●スマートフォンケースが極端に厚い場合、充電できない場合があります。●本製品にQi規格規制の端末(スマートフォン)をご使用いただけない場合があります。ホルト等が入る場合はご購入された場所でご使用ください。●ワイヤレス充電同士を近づけないでください。端末を検出できず充電できない場合があります。●ケーブルや端末、USB出力端子の接続端子部の変形や導通性の異常(金属片・鉛筆の芯・ビニ・砂など)または液体(汗・化粧水・飲料水等)が付着した状態でのご使用は端子間が短絡(ショート)し発熱や焦げの原因となり危険です。取り扱いには十分ご注意ください。また異常にあった場合はご使用をおやめください。●コネクターを斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加える等、コネクターへの負荷はかけないでください。●付属の充電ケーブルは本製品以外では使用しないでください。●お手持の手の動作がないところをご使用、保管してください。●使用にあたっては周囲温度(使用環境温度)が0~35℃の範囲でご使用ください。●手帳ケースを折り返した状態では、ワイヤレス充電ができません。●スマートフォンを横にしてホールドしないでください。●スマートフォンを折り返した状態では、ワイヤレス充電ができません。●スマートフォンのワイヤレス充電部分とマウス類の間に金属板を挟んでしまうと充電できません。●本製品にAC充電器、DC充電器は付属しておりません。●本体に接続するUSB電源は定格出力5V2A以上またはQuickCharge2.0以上の機器をお使いください。●急速ワイヤレス充電には、QuickCharge2.0以上の充電器が必要です。●本製品でスマートフォンを充電中に高負荷アブリ(図、4K動画等)の操作すると、スマートフォンの保護機能が働いて充電ができないことがあります。スマートフォンの操作ができない場合、スマートフォンの保護機能が働いて充電ができないことがあります。●スマートフォンの充電端子が破損したり、取り付け跡等が残ったりする場合があります。その場合は、本製品のスマートフォンの互換性を保証するものではありません。●本製品はQi規格に準拠していますが、すべての規格機器との互換性を保証するものではありません。●本製品にスマートフォン用のカバー・ケースは付属しません。●本パッケージ・取扱説明書に記載されている内容を守らない場合や、本製品の誤った取り付け、改修してのご使用等、故障・損害につきましては当社では一切その責任・保証は負いかねます。●磁気カードや磁気記録メディア、精密機器など磁気の影響を受けるものは本製品に近づけないでください。●端末の充電口に充電ケーブルを接続している状態で、本製品に置かないでください。●取扱説明書や取扱説明書に記載されている保証規定をご確認いただき、レシートと保証書を大切に保管してください。●この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

## 車内での取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

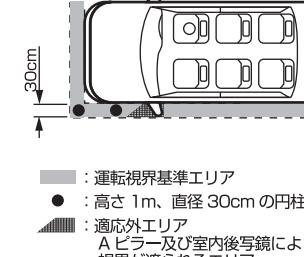
## 前方視界基準

<基準概要>  
自動車の前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



## 直前直左視界基準

<基準概要>  
自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



2 本製品に付属の充電ケーブルのType-C端子を本製品に接続してください。

3 貼り付け場所の汚れや油分を拭き取ります。

\*ホコリや油分等で汚れていると確実な吸着ができません。

4 台座のレバーが下がっている場合は上げて、吸盤の保護フィルムを剥がしてください。

\*吸盤面に触れないようにご注意ください。吸盤面が汚れると吸着力が低下します。

5 吸盤とレバーを貼り付け箇所に強く押しつけながら、レバーを下げます。

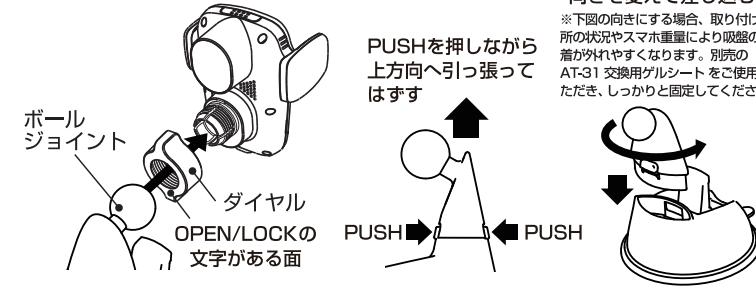
\*曲面や凹凸のある面への貼り付けは避けください。

\*ダッシュボード等、車内へ取り付ける場合は、必ず別売のAT-85取り付けベースをご使用ください。本製品は取り付けベヌスへ貼り付けてご使用ください。

6 取り外す場合は、レバーを上げ、吸盤のベロ部分を持って、吸盤部分をゆっくりと剥がしてください。

## 取付け方法

1 ボールジョイントにダイヤルを通してから、ボールジョイントを本体に取付け、ダイヤルを締めてください。台座側の向きを変える場合は下図を参考にしてください。



## 保証書

保証期間 お買い上げ日より6ヵ月

KW-33 Qi自動検知電動ホルダー キャバシタ付 卓上タイプ		
お買い上げ日	年	月
お客様 ご住所	〒	-
お名前	電話番号	

**レシート貼付け欄**  
必ず、お買い上げ店舗のレシートをご添付願います。  
レシートの提示がない場合は無償修理対象外となります。

## 使用方法

1 本製品に付属の充電ケーブルのUSB-A端子をお持ちのUSB電源に接続します。

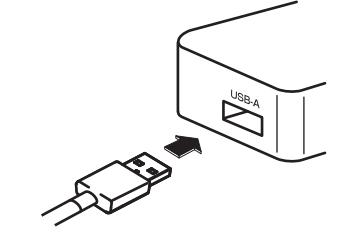
\*本製品にUSB電源は付属していません。

\*本体に接続するUSB電源は定格出力5V2A以上またはQuickCharge2.0以上をご使用ください。

5V2A以下の充電器に接続すると充電ができない場合や、充電に時間がかかる場合があります。

\*7.5W/10W急速ワイヤレス充電にはQuickCharge2.0以上の充電器が必要です。

\*充電ケーブルの端子はしっかり奥まで差し込んでください。



2 USB電源より通電後、本製品のインジケーターが赤点滅、青点滅します。

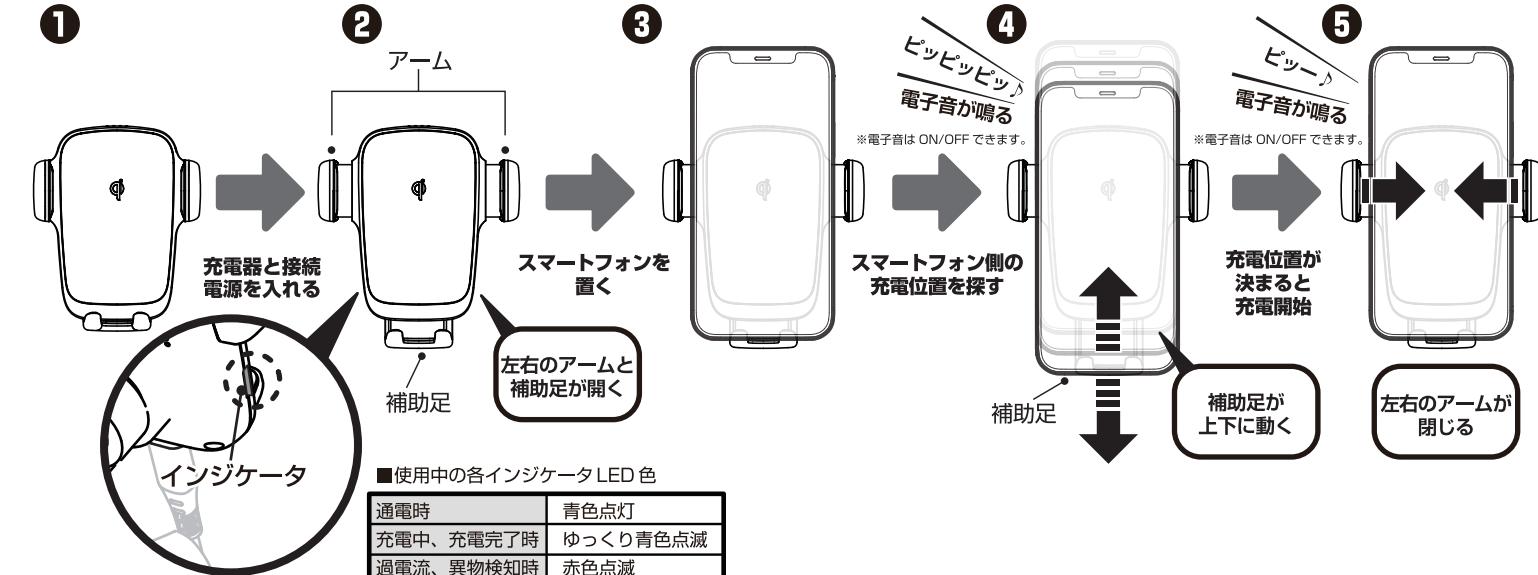
下図(1~6)の手順でスマートフォンを本製品に置いてください。

\*サイズが小さいスマートフォンは本製品の補助足が動かない場合があります。その場合は④でスマートフォンを置く際に、上方から差し込むように置いてください。

\*充電位置を探す時の電子音はON/OFF切り替えができます。

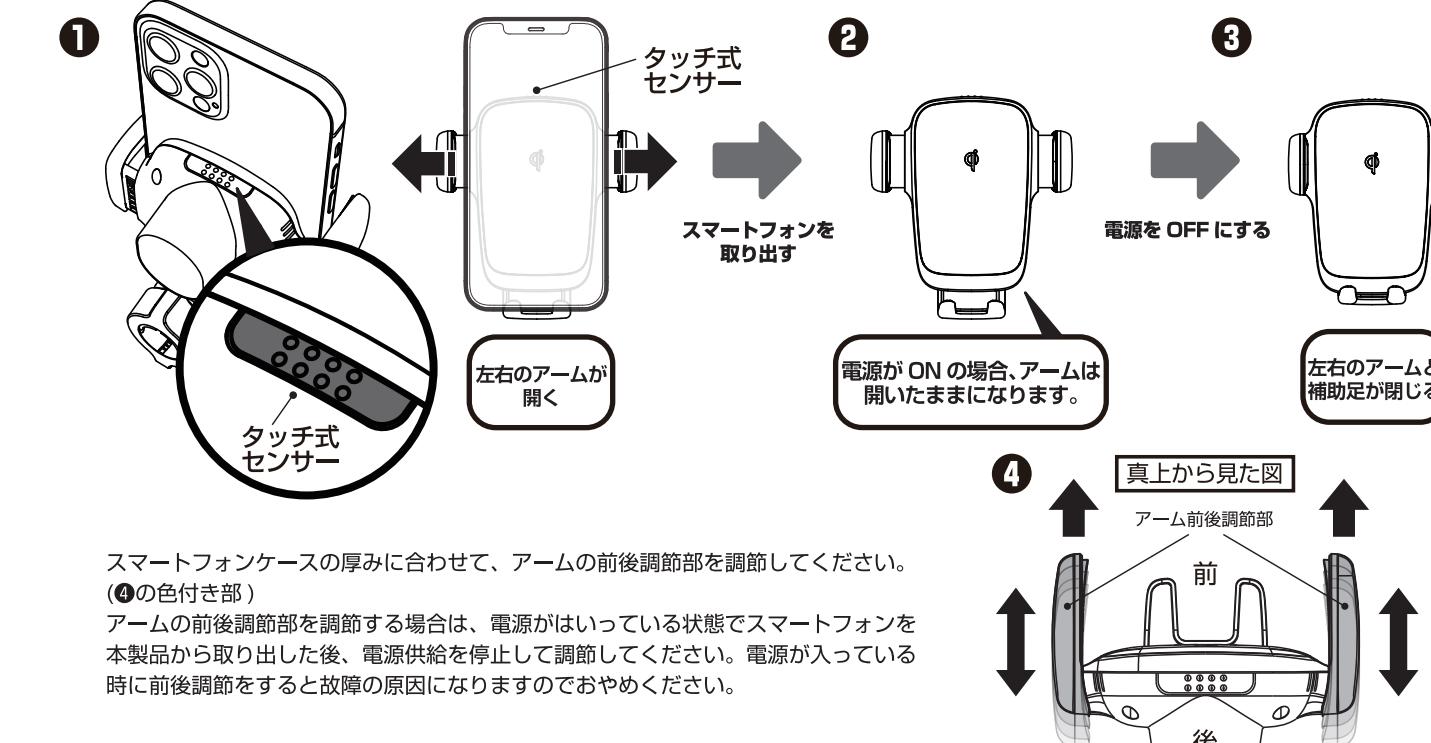
下図②の状態にした後、タッチ式センサーを約6秒長押ししてON/OFFを切り替えてください。(タッチ式センサーの位置は③の①を参照ください)

タッチ式センサーを長押しし、本製品が②~⑤の動作をしますが、⑥の動作が完了するまでタッチ式センサーを押し続けてください。(②~⑥までの動作で約6秒です)



3 スマートフォンを取り出す場合は、下図(1~3)の手順で取り出してください。

キャバシタ内蔵により、電源がOFFの状態でもスマートフォンを取り出すことができます。\*給電が短時間の場合、蓄電が足りず動作しないことがあります。



\*タッチ式センサーに触れてアームを開いた後、スマートフォンを取り出さない場合、約5秒後にアームが閉じます。

\*電源がOFFの状態でスマートフォンを取り出した場合、数秒後にアームが閉じます。

\*アームの左右開閉、補助足の操作は電源が入っている時に行ってください。電源供給停止後、数回の開閉は可能ですが、その回数は使用環境によって異なります。電源入っていない時に無理に手で開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。(アームの前後調節は電源供給停止して調節してください)

\*本製品と充電する末端の間に、金属や液体などの異物がないことをご確認ください。

\*充電しない場合や本製品のインジケーターが赤点滅(異物検出時等)、消灯した場合は、端末を本製品から一旦離し、本製品のLEDが青色点灯後に再度充電してください。

\*充電中にインジケーターが青色点滅しない場合、ご使用のスマートフォンが本製品の適合機種であることを再確認してください。

\*充電開始または充電完了の表示に関しましては端末の取扱説明書をご確認ください。

\*充電時間は端末や充電環境により異なります。